

但し、だからさいつて、何も急に幼稚園を小學校にする  
こいふ譯ではない。今まで行つて來た訓練が、皆、つまり  
は小學校へ役立つ筈のものである。若し、此の期に及んで  
事新しい點があるさすれば、子ぎもの心の前に小學校の  
樂しみが、あり〜こあるこいふ點であらう。その意味  
で、いはゞ、小學校こここいつた風の、多少のまこまり  
がつけ易いであらう。

### 第十週

此の保育案では、第十週こなつてゐるが、第十一週のこ  
ころも、第十二週のこころもあらう。要は、保育の修了週  
である。こゝでよろこばしき諸注意こある。悲しき注意  
苦しき注意なんでものがある筈はないが、殊によろこばし  
きここわりをつけたのは、先生が、ここによつたら別れ  
を惜んで、センチになられ、「もうお別れね。」「いつまでも  
覚えてるて下さい。」「いつまた會へるでせう。」「時々思ひ

出して下さいね。」「…ね。」「…ね。」「ね——。」「でしん  
みりなさつたりしてはいけないと思つての御注意である。  
年月いこし保育して來た子ぎも達が、幼稚園を見捨て、  
小學校へ宿がへして仕舞ふ。それが何んで悲しい。わが子  
の出世の旅出を送るのにも悲しい顔一つ見せないのが賢母  
である。幼児の始めての此の出世、假りにも悲しい顔なん  
か見せたら賢母こはいへない。さればこそ、よろこばし  
き諸注意である。こいつて、そう一々「よろこばしいのね」。  
「よろこばしいのね——。」「こはやし立てなくてもいい。幼  
兒は先刻既に、よろこばしいのであるから。  
さて、解説子も、こゝで系統的保育案の實際の解説が終  
つてよろこばしい。すべて、始めたここが終了するこいふ  
ここは、まここに、よろこばしいここである。幼児もめで  
たしく。解説子もめでたしく。

## 第四週

### 節分

本欄の書き出しに依り、年少組の所で、縷々書きつらねる事をしたが、當園の様な二年保育、又一般の幼稚園の様に、年長組が人数に於ても壓倒的に優勢を示してゐる幼稚園では、袴こしらへも、歳男決めも、年長組の方で盛大に行つた方がいゝ様に思ふ。年少組では、ごく簡単に小規模に自分の組を濟ませ、大きい組がするのを、みんなであつて歩いて見物したらいい。

先づ子供に節分のいわれを話して、この行事を幼稚園でする事に就て相談する。そして年少組で述べた様にして準備、豆撒き、お豆食べ等をする。

### お面

實際の豆撒きには、この鬼ミ福の神のお面は必要ではないのであるが、この行事から誘導されて、劇遊びや、エホンシャウカのマメマキの遊戯に使ふ爲にお面を作る。

### 動物園つゞき

### 親豚

作り方は、第二週の小豚と同様にして、唯親豚の方は親豚たらしむべく、凡てを大ぶりにミ云ふ心持で。

### 親山羊

之も亦、第二週の小山羊を、凡ての點に於て少々大ぶりに。

### 柵

山羊、豚等の様な温厚な動物を入れておく柵、低く、そして立つ様に、つゝかへ棒等を所々につける。

### 第五週 動物園つゞき

### 鹿

胴體に林檎等の空箱利用。足のつけ方、頭部のつけ方等は、前の動物と同様にして。

色は茶に、白で斑點をつける。頭部(顔あり角あり)は子供にかいてもらふ。

### キリン

足ミ頸を特別に長く、ミ心掛けて。

### キリンの柵

第四週の様な柵。只キリンが脊高であるから、この柵も

それに應じて高くする。

## 第六週 動物園つゞき

らくだ

作り方は前同様。只脊中のこぶを工夫しなければならぬ。如何様にても出来るであらうが、この時は、お砂場等に用ひる小さい笊を、布でおほつて二つ脊中に固定させた。そして全體を駱駝の色に塗つた。

ライオン

大きな顔のまはりに、棕櫚の幹の、外側につけて茶色の毛をつける。大變にライオンらしくなる。作り方は之も前同様。

水牛

親山羊と同じ位の大きさ。作り方前同様。

熊

熊は肥つてゐるから、釘樽を利用した方がすつゝ熊らしくなる。足も太く、短目に。そして全身を眞黒に塗る。

## 第七週 動物園つゞき

猛獣の柵

ほんたうの動物園ならば、猛獣の柵はいかにも猛獣の柵らしく、二重位にでもするのであらうけれど、幼稚園で拵へる柵に、鐵の棒を使ふわけにも行かず。やはりこの柵は、前のキリンや山羊等の所に拵へたのミ、出来た結果に於ては同じものになるわけである。只、眞似事ではあるけれど、猛獣は猛獣同志同じ柵に入れておく、ミ云ふ意味合での猛獣の柵なのである。現實の動物園で、ライオンミ熊ミ同じ柵の中に入れておくミ言ふ事はあり得ないのであるけれど、ほんたうの動物園の様に、一種類づつを一圍ひにしてもおけないのでこんな事にしたのである。子供も「ライオンミ虎ミ一緒にしておいたら、虎はきつゝ食べられてしまふよ」ミ一應は心配するであらうから、實際の事を話して納得してもらふ。

作り方は、前の柵ミ同様。

虎

之もやはり釘樽が似合ふ。足は太く、頸は短くミ言ふ心持で。全身を黄色に塗り、後で黒の縞をつける。

豹

虎ミ殆んぎ同様。稿の代りに黒の斑点をつける。

## 第八週

雛祭り

動物園の忙しさに、遂にこんなに切迫してしまつたので、

この週はお雛様専門に取りかゝる。年長組は入れ子雛製作。

親王様、おひめ様、三人官女、五人囃、橘、櫻皆同じ様式で出来る。

くわしい作り方は手技の項参照。

## 第九週 動物園つゞき

象

今までのごの動物よりも大きな空箱を胴體に利用する。

足は相當に肥く、頭は長い鼻を一際目立たせて。最後に色を塗る。

池の水(紙を繪具でぬる)

大判の白の模造紙を水色に塗り、池の園の中に敷いて池の積りにする。

かこひの杭

構を拵へる時、立つ様にミ工夫を凝したが、この池のか

こひにする杭も、池のまわりに立つ様にせねばならない。

それにはやはり、杭の下部の方へ、板でも打ちつけて立つ

様に工夫するのである。

スワン

池に浮ばせるスワン。作り方は手技の項参照。

魚

粘土で作る方がた易いであらう。水族館の時の様に、お

魚の繪を二枚書かせ。中に綿等を入れて両面貼り合せたあ

のお魚にしても結構。

切符賣場

年少組第三保育期、第四週の旅行ごつこの所で作つた様

なのを。その他、どんな形式の切符賣場でも子供はよろこ

ぶ。

動物の餌 手技の項を参照

## 第十週 動物つゞき

動物園完成

計畫したゞけの動物は出来上つた。動物に與へる餌も出

来たし、こゝで動物園は完成した事になる。そこで、始めの計畫通りに幼稚園の各組へご案内をして見に来て頂く準備にぎりかゝらなければならない。ほんまうの動物園でする様に、動物の名を貼り出して置かなければならない。それから、皆さんに見ていただくにしても、一人々々に入場券を出して来ていたゞいた方が、いかにも動物園へ行つたと言ふ感じが出るので、入場券作りもしなければならぬ。入場券を手に入れたり、動物に與へる餌を得るにはお金も必要。そこでこのお金も用意しておいてお客様に差し上げる。

### 唱歌遊戯

#### 第五週

#### 唱歌 三回

おもちゃのマーチ (童謡唱歌名曲全集)

可愛らしく元氣に歌ふこと。

それから、各組へご招待状を書く。幼稚園中に、動物園開園を知らせるポスターを貼り出して景氣を添へる。

いよく開園の當日になるに、その役割も超満員云ふ盛況なので、目まぐるしい程に忙しい。開園の前日に、お金をあげる人、切符を賣る人、切符を切る人、案内人、掃除人、ゑさ賣り、番人等も、一組總出で働く。見る人達も珍しがつてよろこんで呉れるし、見せる側でも忙しい目をするこゝただけでも嬉しいのに、みんなの悦ぶのを見てはいよく張り合が出て来て、盛會裡に、満足裡に今日の開園は終るのである。

歌ふ時の姿勢を注意し、口をよく開けて歌ふ様にさせる。

#### 紀元節の歌

長少組と同じく、やはり先生が歌つて聞かせる。